

ネットワークスキャン タスクスケジューラ登録手順

2021年8月30日

株式会社蒼天

LogVillage ネットワークスキャンを手動でタスク スケジューラ登録を行う手順を記載しています。

以下の手順は、月次でのネットワークスキャンの実行設定を前提とした手順を示します。

No.	作業項目	作業内容	メモ
	エージェント実行をタスクスケジューラ（基本タスク）へ登録		
1	Windowsタスクスケジューラを起動	コントロールパネル→管理ツール→タスクスケジューラ	
2	右ペイン[基本タスクの作成]をクリック	「基本タスクの作成」ウィザードが起動	
3	基本タスクの作成	”名前”に任意のタスク名を入力し、[次へ]をクリック 例：MONTHLY_NWSCAN_1000	<ul style="list-style-type: none">・ 名前の先頭は、必ず”LV_NETSCAN”以外の文字列としてください。※LogVillageが自動生成するタスクと区別するため。・ ”説明”は必要に応じて任意入力。
4	トリガー	”毎月”を選択し、[次へ]をクリック	
5	トリガー → 毎月	①開始する日時を設定 ②実行する月を選択 ③月次で実行する日または曜日を選択 ④[次へ]をクリック	
6	操作	”プログラムの開始”を選択し、[次へ]をクリック	

No.	作業項目	作業内容	メモ
7	操作→プログラムの開始	<p>①プログラム/スクリプトの[参照]をクリックし、以下のexeファイルを選択 (場所) C:\Program Files (x86)\SO-TEN\LogVillage\Pserver (ファイル名) LV_NetworkScan.exe</p> <p>②"引数の追加"に以下を入力 [任意の識別数字] [ネットワークスキャンのIPアドレス範囲] 例：1000 192.168.10.1-192.168.10.255</p> <p>③"開始オプション"は空白のまま</p> <p>④[次へ]をクリック</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーリングサーバのインストール場所を変更している場合は①の場所を読み替えてください。 ・引数の"任意の識別数字"は動作ログを確認する際 の同タスクの識別子となります。 LogVillageが自動生成するタスクを区別するため 1,000以上の数字で各タスク毎にユニークな数字 としてください。 手順3のタスク名に識別数字を入れておくと、 何かの際の動作ログの確認が容易となります。 ・引数の"任意の識別数字"と"ネットワークスキャン のIPアドレス範囲"との間には半角スペースを入 れてください。 ・"ネットワークスキャンのIPアドレス範囲"は、 スペースなしで"- (ハイフン) "で繋げて指定 してください。
8	完了	<p>①"[完了]をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ]ダイアログを開く"にチェックを 入れる</p> <p>②[完了]をクリック</p>	

No.	作業項目	作業内容	メモ
	作成したタスクのプロパティを編集		
9	全般タブ	①"ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する"を選択 ②[ユーザーまたはグループの変更]をクリック ③"ユーザーまたはグループの選択"ウインドウの"選択するオブジェクト名を入力してください"に"SYSTEM"と入力し、[名前の確認]をクリック ④"SYSTEM"に下線が入っていることを確認し、[OK]をクリックし、"ユーザーまたはグループの選択"ウインドウを閉じる ⑤[OK]をクリックしてプロパティを閉じる	
	作成したタスクの実行確認		
10	タスクを強制実行	手順3で作成した名前を右クリックし、[実行する]を選択	
11	タスクの終了を確認	右ペインの[最新の情報に更新]をクリックし、「状態」が準備完了、「前回の終了時刻」が直近の日時、「前回の実行結果」が"この操作を正しく終了しました"となっていることを確認	
12	ネットワークスキャン結果を確認	LogVillage管理画面の[ネットワークスキャン台帳]に当該タスクのネットワークスキャン結果が表示されていることを確認	